

# 保険者機能強化推進交付金について

(2018年愛知自治体キャラバンまとめ)

市町村名	賛成	反対	その他	コメント
合計	17	3	34	
1 名古屋市			○	今年導入されたばかりで、何ともいえない。
2 豊橋市			○	活用できる制度は活用していくことになると考えている。
3 岡崎市			○	評価指標の報告や交付決定がまだなので、交付金制度の評価はできない。
4 一宮市	○			
5 瀬戸市			○	賛成、反対という視点はなく、財源として有効に活用できればと考えます。
6 半田市			○	どちらともいえない。
7 春日井市	○			
8 豊川市	○			
9 津島市	○			
10 碧南市			○	国の方針に従います。
11 刈谷市	○			
12 豊田市			○	新規交付金で、国が制度設計中であるため、現時点では、評価はできないが、今後の動向に注視していきたい。
13 安城市	○			
14 西尾市			○	今の段階では、評価できない。
15 蒲郡市			○	平準化が必要な事業と地域の特性を活かして行う事業があり、どちらともいえない。
16 犬山市	○			
17 常滑市		○		
18 江南市			○	地域の実情により努力できる範囲が異なるため、保険者間の相対的評価でなく、保険者自身の懸念比較による努力の伸びを評価する項目を取り入れるべきと考えています。また、将来的には、保険者の意欲を低下させないよう、ディスインセンシブ的(罰則的)な交付金を行うべきではないと考えています。
19 小牧市			○	市町村の自己評価に対し、国の審査が公平かどうかで交付金の評価をしたい。
20 稲沢市			○	事業者の支援を含め、地域マネジメントの流れを加速化させる意図があると考えられるが、地域間で格差が生じてしまう恐れがあると思われる。
21 新城市			○	保険者は東三河広域連合となるため。
22 東海市			○	
23 大府市			○	
24 知多市			○	国から保険者機能強化推進交付金交付要綱が示されておらず、また制度自体も開始されていないことから、この交付金により、どのような費用対効果があるかわかりかねるため、賛成とも反対とも現段階では判断いたしかねます。
25 知立市	○			
26 尾張旭市			○	高齢者の自立支援、重度化防止等に向け適正に取り組み、交付金は財源として有効に活用したいと考えている。
27 高浜市	○			
28 岩倉市			○	どの程度の額が交付されるのか不透明なため。

市町村名	賛成	反対	その他	コメント
合計	17	3	34	
29 豊明市			○	あくまでも自己評価なので差がつくと思わないため不明。
30 日進市			○	
31 田原市			○	事業実施の自己評価基準に利用できることに関しては、概ね賛成できる。
32 愛西市			○	状況を見守る考えです。
33 清須市		○		
34 北名古屋			○	
35 弥富市			○	交付金の金額規模など、国からの情報も不足しており、評価できておりません。
36 みよし市	○			
37 あま市		○		
38 長久手市	○			
39 東郷町	○			
40 豊山町	○			
41 大口町			○	どちらとも言えない。全自治体が制度を正しく理解した上でのインセンティブであれば、問題ないが、数値目標だけが先行するようであれば、検討の余地ありと考える。
42 扶桑町	○			
43 大治町			○	
44 蟹江町			○	効果的に活用できるよう努力します。
45 飛島村	○			
46 阿久比町			○	規模の小さな自治体ほど条件は厳しく、自治体による格差が広がらないよう注意が必要。
47 東浦町			○	国から保険者機能強化推進要綱が示されておらず、また制度自体も開始されていないことから、この交付金により、どのような費用対効果があるかわかりかねるため、賛成とも反対とも現段階では判断いたしかねます。
48 南知多町			○	自治体毎に人材やノウハウ、地域資源等に大きな差異がある中で、自治体間の格差が広がらないよう留意した制度運用を要望します。
49 美浜町			○	現段階では判断できないため、国の動向を見定めて判断していきたい。
50 武豊町			○	国の示す評価指標が保険者の機能強化、自立支援や重度化防止に、どのようにつながるのか、効果について示されていないため評価できない。
51 幸田町	○			
52 設楽町			○	東三河広域連合と調整。
53 東栄町			○	
54 豊根村	○			